



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月30日

上場会社名 トッパン・フォームズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7862 URL <http://www.toppan-f.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 櫻井 醜  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務本部長 (氏名) 福島 啓太郎 (TEL) 03(6253)5720  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	181,408	8.6	9,475	16.3	9,886	18.6	5,899	40.4
24年3月期第3四半期	166,974	△1.3	8,147	△2.3	8,334	△4.6	4,203	1.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 6,846百万円( 74.5%) 24年3月期第3四半期 3,922百万円( 2.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	53.15	—
24年3月期第3四半期	37.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	190,685	147,753	77.2
24年3月期	190,550	143,716	75.1

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 147,179百万円 24年3月期 143,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
25年3月期	—	12.50	—		
25年3月期(予想)				12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	242,000	6.6	11,500	5.4	11,900	6.3	7,000	25.2	63.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期3Q	115,000,000株	24年3月期	115,000,000株
25年3月期3Q	4,003,441株	24年3月期	4,003,354株
25年3月期3Q	110,996,617株	24年3月期3Q	110,996,646株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要による内需の下支えはあったものの、エコカー補助金の終了や、世界的な景気の減速などの影響により、不安定な状況が続きました。

ビジネスフォーム業界におきましては、企業の経費削減の徹底による価格低下や、電子化の進行などによる需要量の減少により、厳しい環境が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、顧客の課題をワンストップで解決する総合的な情報管理ソリューション企業として、ビジネスプロセスアウトソーシング（BPO）を含めた事業領域の拡大とシェアアップによる印刷事業の深耕、ウェブ・カード・RFID・NFCなどの情報通信技術（ICT）を基盤としたソリューションの推進や新事業・新サービスの開発、ウェブ販売チャネルの強化と新商品の拡販による商品事業の拡大に注力しました。海外においては、中国市場への深耕、ASEAN市場の開拓などに努めました。

また経営基盤強化としては、特に製造拠点の集約、物流コストの管理徹底、海外調達（用紙）の実施など、収益力の強化に取り組みました。

以上の結果、前年同四半期に比べ売上高は8.6%増の1,814億円、営業利益は16.3%増の94億円、経常利益は18.6%増の98億円、四半期純利益は40.4%増の58億円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

**印刷事業** 売上高 1,465億円（対前年同四半期 11.5%増）  
セグメント利益（営業利益） 113億円（対前年同四半期 42.5%増）

ビジネスフォームでは、経費削減の徹底による価格低下や電子化に伴う需要量の減少はあったものの、利用者にとっての分かりやすさ、伝わりやすさを追求するユニバーサルデザイン提案や、企業の基幹システム変更による帳票改訂需要の取り込みに努めました。また企業合併に伴う関連印刷物の一括受注などにより、前年を上回りました。

DPSは、通知物の電子化や簡素化、競争激化による単価ダウンはあったものの、金融機関を中心としたプリント業務の一括アウトソーシング需要の取り込みや、最新鋭の高速デジタルプリンターを活用したバリエーション印刷物市場の開拓、プリント業務の周辺事務を含めたBPO受託の増加により、前年を大幅に上回りました。

**商品事業** 売上高 348億円（対前年同四半期 2.1%減）  
セグメント損失（営業損失）（△） △4億円（対前年同四半期 - ）

サプライ品は、販売価格の下落はあったものの、オフィス用品（用紙類、再生トナー）や、災害対策用品、販売促進用ノベルティなどの商品拡販により、前年を上回りました。

事務機器関連では、配送伝票対応プリンターや金融機関向けカード発行システムの拡販を行いました。企業におけるメーリング業務のアウトソーシング化による需要減や、リプレースサイクルの長期化などの影響で前年を下回りました。

区分	前年同四半期 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		当第3四半期 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		増減		前連結会計年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	伸率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
印刷事業	131,420	78.7	146,586	80.8	15,165	11.5	178,837	78.8
(内DPS)	(58,830)	(35.2)	(73,645)	(40.6)	(14,815)	(25.2)	(81,764)	(36.0)
商品事業	35,554	21.3	34,822	19.2	△731	△2.1	48,210	21.2
計	166,974	100.0	181,408	100.0	14,434	8.6	227,048	100.0

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ資産合計は1億円増の1,906億円、負債合計は39億円減の429億円、純資産合計は40億円増の1,477億円となりました。この結果、自己資本比率は77.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、本日別途公表いたしました「平成25年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ69百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	34,201	27,525
受取手形及び売掛金	47,120	49,717
有価証券	2,433	3,838
商品及び製品	8,070	8,296
仕掛品	959	1,052
原材料及び貯蔵品	1,958	2,296
繰延税金資産	2,063	1,173
その他	2,891	3,536
貸倒引当金	△248	△260
流動資産合計	99,450	97,175
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	56,485	56,315
減価償却累計額及び減損損失累計額	△27,201	△28,221
建物及び構築物(純額)	29,284	28,093
機械装置及び運搬具	70,956	71,033
減価償却累計額及び減損損失累計額	△59,572	△61,037
機械装置及び運搬具(純額)	11,384	9,996
工具、器具及び備品	10,242	10,729
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,465	△8,840
工具、器具及び備品(純額)	1,776	1,888
土地	22,627	22,626
リース資産	287	287
減価償却累計額	△240	△259
リース資産(純額)	47	28
建設仮勘定	749	5,442
有形固定資産合計	65,870	68,076
無形固定資産		
その他	3,486	3,619
無形固定資産合計	3,486	3,619
投資その他の資産		
投資有価証券	13,539	15,307
繰延税金資産	2,414	1,758
その他	6,141	5,158
貸倒引当金	△351	△409
投資その他の資産合計	21,743	21,814
固定資産合計	91,100	93,510
資産合計	190,550	190,685

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,440	25,283
短期借入金	298	253
1年内返済予定の長期借入金	51	—
未払法人税等	2,044	358
賞与引当金	4,106	2,111
役員賞与引当金	42	43
資産除去債務	138	273
設備関係支払手形	974	3,865
その他	8,155	7,557
流動負債合計	43,252	39,745
固定負債		
繰延税金負債	125	103
退職給付引当金	2,660	2,539
役員退職慰労引当金	156	145
資産除去債務	595	367
その他	44	30
固定負債合計	3,581	3,186
負債合計	46,833	42,932
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,750	11,750
資本剰余金	9,270	9,270
利益剰余金	127,597	130,722
自己株式	△4,916	△4,916
株主資本合計	143,701	146,825
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	285	1,148
為替換算調整勘定	△837	△795
その他の包括利益累計額合計	△552	353
新株予約権	33	13
少数株主持分	533	560
純資産合計	143,716	147,753
負債純資産合計	190,550	190,685



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	166,974	181,408
売上原価	131,273	143,404
売上総利益	35,701	38,004
販売費及び一般管理費	27,553	28,528
営業利益	8,147	9,475
営業外収益		
受取利息	84	113
受取配当金	149	165
持分法による投資利益	52	49
為替差益	—	0
受取技術料	6	—
その他	283	326
営業外収益合計	576	657
営業外費用		
支払利息	8	4
保険解約損	40	118
為替差損	118	—
貸倒引当金繰入額	93	—
その他	127	123
営業外費用合計	388	246
経常利益	8,334	9,886
特別利益		
固定資産売却益	67	0
投資有価証券売却益	12	135
投資有価証券清算益	24	—
新株予約権戻入益	13	20
その他	3	2
特別利益合計	121	158
特別損失		
固定資産売却損	10	40
固定資産除却損	190	247
投資有価証券評価損	127	93
事業所移転費用	92	—
その他	31	79
特別損失合計	452	460
税金等調整前四半期純利益	8,003	9,584
法人税、住民税及び事業税	2,388	2,599
法人税等調整額	1,387	1,046
法人税等合計	3,776	3,646
少数株主損益調整前四半期純利益	4,227	5,938
少数株主利益	23	39
四半期純利益	4,203	5,899

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,227	5,938
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△158	865
為替換算調整勘定	△65	52
持分法適用会社に対する持分相当額	△79	△10
その他の包括利益合計	△304	907
四半期包括利益	3,922	6,846
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,901	6,805
少数株主に係る四半期包括利益	21	40

## (3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷事業	商品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	131,420	35,554	166,974	—	166,974
セグメント間の内部売上高 又は振替高	519	1,041	1,561	△1,561	—
計	131,940	36,595	168,535	△1,561	166,974
セグメント利益	7,964	1,330	9,294	△1,147	8,147

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,147百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,147百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷事業	商品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	146,586	34,822	181,408	—	181,408
セグメント間の内部売上高 又は振替高	606	622	1,228	△1,228	—
計	147,192	35,444	182,637	△1,228	181,408
セグメント利益又は損失(△)	11,350	△446	10,903	△1,427	9,475

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,427百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,427百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

①会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「印刷事業」のセグメント利益が69百万円増加し、「商品事業」のセグメント利益が0百万円増加しております。

②事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更

第1四半期連結会計期間より、各セグメントの経営成績の実態をよりの確に把握することを目的に販売費及び一般管理費の配賦方法を変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「印刷事業」のセグメント利益が1,062百万円増加し、「商品事業」のセグメント利益が1,062百万円減少しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。